

平成27年度第2回向日市いじめ防止対策推進委員会 要旨

日 時	平成28年2月10日(水) 午後1時～2時30分
場 所	乙訓総合庁舎 1階会議室2
出席委員	本間委員長、平 副委員長、尼子委員、伊坂委員、福井委員
欠席委員	なし
事務局	学校教育課担当課長
傍聴者	なし
議 題	<p>(1) あいさつ</p> <p>(2) 本市の現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度いじめ調査の概要について速報値として事務局より報告 ・今年度2回目の調査では、1回目と比較して、いじめの認知件数が小学校ではやや減少し、中学校では増加しているが、第2段階については、小中学校ともに減少し、そのほとんどが念のための継続事例である。 ・いじめの態様としては、「冷やかしやからかい」「仲間はずれ」「軽くぶつかられたり、遊ぶ振りをして叩かれる」が多く、そのほとんどは早期に解消しており、重大な事態に至るおそれがあるケースはない。 ・その他の事象がやや増加しているが、友人関係での一過性の「いやな思い」であり、継続している状況はない。 ・各学校では、いじめ防止対策の校内委員会を定期的開催し、校内で情報を共有化するとともにそれぞれのケースについて注意深く見守りを継続。 ・今後は、学校だより等を活用して保護者等にお知らせするとともに、学校、家庭、地域が連携して、いじめの未然防止及び、早期発見・早期解決に努める。 <p>(3) 意見交換</p> <p>委員 : 重大な事態に至るケースがないことは良かったが、そうなるようなリスクのある事例はないか。</p> <p>事務局 : 友人関係のトラブルの解決をめぐる、十分な理解が得られなかった場合には、短期間ではあるが児童生徒の欠席を伴うようなケースもある。しかしながら、いずれのケースも長期化することなく解決できている。</p> <p>委員 : おそらくそのようなケースは毎年起こりうる。学校としても様々な角度から関わりを持つことが大切であり、教育委員会も直接・間接に支援していくことが大切である。</p> <p>委員 : アンケートに加え面談もされているが、どの様な内容か。</p>

事務局：直接にいじめについて聞くのではなく、日頃の困り感を聞くようにしており、その際にアンケートも一つの資料として活用している。

委員：第1段階の把握は、法のいじめの定義に沿ってされており、子どもの主観によるが、第2段階は府の判断基準に基づき、「教職員が組織的・継続的に指導や経過観察の必要があるもの」と、教職員の判断となる。子どもの認知と教職員の判断とにずれがある場合をどうしていくのが課題である。

委員：これまでは「死にたい」とか「死んだ方がまし」と言葉にはしても、自殺とは大きな隔たりがあったが、近年、自殺のハードルが下がっているように感じる。いじめについても、意図的ないじめよりも無意識のいじめが増えているように感じる。

委員：第2段階と判断する教員のアンテナがどれだけ磨かれているかが大切である。アンケート内容のきめ細やかさや回答状況も含め、判断の経過を共有する必要もある。

委員：繰り返しいじめの加害者となる児童生徒については、個別の指導が必要である。また、アンケートの内容も専門家等の意見も入れ、見直していくことも大切である。

委員：先生との関係がうまくいっていない児童生徒にとってみれば、その状況は先生にいじめられているようなものである。そのような場合に正直にアンケートに書けているのか、表面に出せているのかが気になる。

委員：スクールカウンセラーとしてお世話になっていたときには、生徒のアンケートの内容も見せていただいていたおり、気になる生徒について共有化していた。現在でも継続しているのか。

事務局：現在も同様である。

委員：調査結果だけでなく継続事例については市独自に個票をつくっていることは、指導の流れがわかって良い取組だと思う。

委員：いじめの被害に目がいきがちであるが、加害の問題にも焦点をあてた方策が必要である。先ほどとは逆の発想で、繰り返し加害となる児童生徒についての個票なども考えてはどうか。

委員：全員へのアンケートについても、いじめ被害を聞くのではなく「やったことがあるか」と聞くことも一つの方法である。

委員：私が子どもの頃などは、乱暴な子、リーダー的な子がいじめる側であったが、先生の関わりで大きく変わった覚えがある。やはり教員の関わりは重要である。

委員：次年度へ向けて、いじめの問題が風化していかないよう、学校だけでなく医療や福祉、司法等の関係機関が合同で啓発的な活動をして、意識を維持できるような仕掛けを考えることも一つの方

向性である。

事務局：今年度の委員会はこれで終わりとなるが、いただいたご意見を踏まえ、次年度に向け取組を充実させていきたい。